

都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会岩手県代表選考について

〈選考方法〉

1. 第1次選考（兼県中学校新人ソフトテニス大会）

県中学校新人ソフトテニス大会個人戦の結果から男女それぞれ上位12ペアを選出する。

2. 第2次選考（兼県中学校インドアソフトテニス大会個人戦）

第1次選考の上位12ペアと県連盟が推薦する8人（県新人大会及び岩手カップの結果から県連盟U14スタッフ及び県中体連強化スタッフが選出）で県中学校インドアソフトテニス大会個人戦を実施する。

※ この大会での男女優勝ペアは都道府県代表選手に決定する。

なお、日本ソフトテニス連盟主催の競技者育成プログラム(Step-4)と2次選考会の期日が重なり、ジュニアジャパンカップに出場する選手が出た場合は、8名全員を最終選考会で選考することとする。

3. 第3次選考（最終選考会）

第2次選考で選出した16名程度（県連盟U14スタッフ及び県中体連強化スタッフが選出）で最終選考会を実施する。同時に、テニスおよび中学校生活等に関する面接を行う。

※ 最終選考会の試合内容やこれまでの試合結果、面接結果等を上記スタッフが総合的に判断し、2次選考の結果と併せ、岩手県代表選手としてふさわしい男女各8名を県連盟会長に推薦する。

小学連の全国大会選手選考について

小学生の全国大会は以下の2大会です。

- ① 3月末の学年別大会（個人）
- ② 7月末の選手権大会（個人・団体）

①については前年の9月に県内予選を開催、4年生以下、5年生（ダブルス）のベスト4、6年生（シングルス）の1位、2位が全国大会出場の権利を得ることとなります。

②については5月に県内予選を開催、上位4ペアが出場権を得ることとなります。

尚、県内予選はベスト8で4ペア位2リーグ戦を行い、上位2ペアが出場権を得るようにしております（順位決定も行います）。

小学連では全国大会における選考はなく、全てが予選の結果に基づいて選手が決定しております。

令和5年3月12日